

「環境報告ガイドライン2018」項目			掲載状況	「JAXA社会環境報告書2025」における対応	頁
環境報告の基礎情報	1. 環境報告の基本的要件	(1) 報告対象組織	○	「はじめに」	1
		(2) 報告対象期間	○	2024/4/1～2025/3/31(一部それ以降を含む)	46
		(3) 基準・ガイドライン等	○	環境報告ガイドライン2018年版、ISO26000:2010	46
		(4) 環境報告の全体像	—	(本報告書単体で報告を行うものであるため該当せず)	—
	2. 主な実績評価指標の推移		○	環境パフォーマンスデータ、主なマテリアルバランス、グリーン購入・グリーン契約の推進	31-33
環境報告の記載事項	1. 経営責任者のコミットメント	重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	○	トップコミットメント、JAXA環境基本方針	3, 24
	2. ガバナンス	(1) 事業者のガバナンス体制	○	環境経営推進体制、内部統制	17, 29
		(2) 重要な環境課題の管理責任者	○	JAXA環境基本方針、環境経営推進体制	24, 29
		(3) 重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	○	環境経営推進体制、内部統制	18, 29
	3. ステークホルダーエンゲージメントの状況	(1) ステークホルダーへの対応方針	○	JAXA環境基本方針、環境面でのステークホルダーとのコミュニケーション	24, 30
		(2) 実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	○	環境面でのステークホルダーとのコミュニケーション、地域社会との関わり	30, 41
	4. リスクマネジメント	(1) リスクの特定、評価及び対応方法	○	環境事故・法令違反の防止	30
		(2) 上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置付け	○	内部統制、リスクマネジメントの推進	17
	5. ビジネスモデル	事業者のビジネスモデル	○	経営理念、行動宣言、第5期中長期計画の概要	1,4
	6. バリューチェーンマネージメント	(1) バリューチェーンの概要	○	バリューチェーンにおける取り組み	33
		(2) グリーン調達の方針、目標・実績	○	グリーン購入・グリーン契約	33
		(3) 環境配慮製品・サービスの状況	—	(該当なし)	—
	7. 長期ビジョン	(1) 長期ビジョン	○	第5期中長期計画の概要、JAXA環境基本方針	4,24
		(2) 長期ビジョンの設定期間	○	第5期中長期計画の概要	4
		(3) その期間を選択した理由	○	第5期中長期計画の概要	4
	8. 戦略	持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	○	SDGsへの取り組み、JAXA環境基本方針	24, 37, 38
	9. 重要な環境課題の特定方法	(1) 事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	○	環境経営推進	29
		(2) 特定した重要な環境課題のリスト	○	環境経営推進の目標及び達成状況	30
		(3) 特定した環境課題を重要であると判断した理由	○	JAXA環境基本方針、環境経営推進	24, 29
		(4) 重要な環境課題のバウンダリー	○	JAXA環境基本方針	24
	10. 事業者の重要な環境課題	(1) 取組方針・行動計画	○	経営理念、行動宣言、トップコミットメント、JAXA環境基本方針	1, 3, 24
		(2) 実績評価指標による取組目標と取組実績	○	環境経営推進の目標及び達成状況	30
		(3) 実績評価指標の算定方法	無	別途報告済	—
		(4) 実績評価指標の集計範囲	無	別途報告済	—
		(5) リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	無*	* 事業活動に伴って発生する環境負荷や環境配慮等の取組の状況は把握しているが、額の算定までは至っていない。	—
		(6) 報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	無*	* 第三者保証を受けていないため。	—
参考資料：主な環境課題とその実績評価指標	1. 気候変動	(1) スcope1 排出量温室効果ガス排出	○	環境パフォーマンスデータ、主なマテリアルバランス、グリーン購入・グリーン契約の推進	31-33
		(2) スcope2 排出量	無	未集計	31-33
		(3) スcope3 排出量	無	未集計	—
		(4) 温室効果ガス排出原単位	○	環境経営推進の目標及び達成状況	30
		(5) エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(6) 総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合	○	環境経営推進の目標及び達成状況	30
	2. 水資源	(1) 水資源投入量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(2) 水資源投入量の原単位	無	未集計	—
		(3) 排水量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(4) 事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	無	未集計	—
	3. 生物多様性	(1) 事業活動が生物多様性に及ぼす影響	無※	* 惑星等の保護などを通じ地上への影響を軽減するよう考慮している他、事業所では緑化に取り組んでいるなど、間接的に生態系への影響配慮を行っているものの、直接的な事業活動としては行っていない。	—
		(2) 事業活動が生物多様性に依存する状況と程度	無		—
		(3) 生物多様性の保全に資する事業活動	○	地球環境保全	25-28
		(4) 外部ステークホルダーとの協働の状況	○	地域社会との関わり	41
	4. 資源循環	(1) 再生不能資源投入量	○	環境パフォーマンスデータ(input)	31
		(2) 再生可能資源投入量	○	環境経営推進の目標及び達成状況	30
		(3) 循環利用材の量	無	未集計	—
		(4) 循環利用率(＝循環利用材の量／資源投入量)	無	未集計	—
		(5) 廃棄物等の総排出量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(6) 廃棄物等の最終処分量	無	未集計	—
	5. 化学物質	(1) 化学物質の貯蔵量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(2) 化学物質の排出量	○		
		(3) 化学物質の移動量	○		
		(4) 化学物質の取扱量(製造量・使用量)	○		
	6. 汚染予防	(1) 法令遵守の状況(全般)	○	環境事故・法令違反の防止、環境政策の充実	30, 33
		(2) 大気汚染規制項目の排出濃度、大気汚染物質排出量	○	環境パフォーマンスデータ	31-32
		(3) 排水規制項目の排出濃度、水質汚濁負荷量	○		
		(4) 土壌汚染の状況	無		